

【雪崩の指導】

- ・雪崩が起こりやすい地形
 - 急斜面、沢、雪庇(風下)、樹木の形態(柴・疎林)
- ・雪崩が起こりやすい気象
 - 湿雪全層雪崩と乾雪表層雪崩
 - 湿雪全層雪崩は予兆があり(膨らみ、亀裂)、コースは例年決まっており、速度は遅い、雨天時危険
 - 点発生表層雪崩は全体的に規模が小さいが、沢底では注意
 - 乾雪はハワシ、湿雪は降雪の後に強い日射
- ・問題は面発生乾雪表層雪崩である
 - 弱層の大部分は積雪の表面で形成され、後の積雪によって埋没し、やがて消滅する
 - 60cm/24h の降雪があると、弱層がなくても発生する(弱層があればそれ以下でも危険)
- ・雪崩のきっかけ
 - 登山行為において問題となる雪崩の大部分は、人間の行為が引き金で発生する
- ・人間の行動は踏み込んだ跡の 70cm 下まで衝撃を与える可能性がある
 - 弱層テストは沈んだ所から 70cm 下までで十分
- ・実用的な弱層テストの種類
 - ☆ルッチ(滑る)ブロックテスト→所要時間が 20 分、スキー場などの業務用に適している
 - ☆手稲式ハンドテスト→やや簡便、新雪内の弱層難しい、客観性に欠ける
 - ☆コンプレッション(圧縮)テスト→簡便、新雪から深い所まで可能、客観性に欠ける
 - ☆新田式ハンドテスト→大変に簡便であるが、深い所は不可、新雪内の弱層難しい、客観性に欠ける
 - ☆ストックで雪面を叩く→極めて簡便、評価 5 の新雪に有効

【弱層テストの評価基準】

		雪崩の危険度	コンプレッションテスト	手稲式ハンドテスト	バネ秤
評価 5	赤	大変危険	掘るだけでせん断する	掘るだけでせん断する	0 kg
評価 4	赤	人が斜面に近づいた少しの刺激で危険がある	手首を使って叩くとせん断する	手首の関節を曲げて引くとせん断する	3 kg
評価 3	黄	一人が斜面に入り込むと危険がある	肘を使って叩くとせん断する	肘の関節を曲げて引くとせん断する	7 kg
評価 2	緑	急斜面に大勢が入り込むと危険がある	肩を使って叩くとせん断する	肩を使って引くとせん断する	15 kg 以上
評価 1	緑	危険は非常に少ない	体全体を使って叩くとせん断する	腰を使って引くとせん断する	